



## 【概要】

万博開催都市・地域連盟(AVE)第2回連盟会議は、これまでに万博を契機とした地域づくりを進めてきた過去の万博開催都市・地域の首長、現在、愛知万博開催による地域づくりに取り組んでいるこの地域の代表者、将来の国際博覧会開催を考えている都市の首長など世界の万博関係者が一堂に愛知に会し、万博を契機とした地域づくりや愛知万博の開催成果、意義について意見を交換する場として開催されました。

開催期間 2005年9月22日(木)～9月24日(土)

開催スケジュール

9/22(木) 午前	連盟総会(ウェスティンナゴヤキャッスル)
昼	AVEウェルカムランチ(ウェスティンナゴヤキャッスル)
午後	公開シンポジウム(名古屋能楽堂)
	[テーマ:万博と地域づくり]
	愛知メッセージの発信
夜	AVE交流レセプション(ウェスティンナゴヤキャッスル)
9/23(金)	万博会場視察(万博会場)
9/24(土)	BIEデー行催事への参加(万博会場)

開催主体

主催:万博開催都市・地域連盟(AVE)愛知会議開催実行委員会  
(構成:愛知県、瀬戸市、豊田市、長久手町)  
共催:BIE(博覧会国際事務局)  
後援:外務省、経済産業省  
特別協賛:(財)2005年日本国際博覧会協会

連盟総会出席者(150名)

・万博開催都市・地域連盟メンバー

(海外15都市・地域)

ブリュッセル(ベルギー)、リエージュ(ベルギー)、トロント(カナダ)、  
昆明・クンミン(中国)、上海・シャンハイ(中国)、ハンブルグ(ドイツ)、  
ハノーバー(ドイツ)、テッサロニキ(ギリシャ)、大田・テジョン(韓国)、  
麗水・ヨス(韓国)、ヴロツワフ(ポーランド)、モスクワ(ロシア)、  
セピリア(スペイン)、サラゴサ(スペイン)、イズミール(トルコ)

(国内7都市・地域)

大阪市、沖縄県、つくば市、愛知県、瀬戸市、豊田市、長久手町

・BIE事務局長



・各国BIE政府代表

公開シンポジウム出席者(520名)

・万博開催都市・地域連盟メンバー(含むBIE関係者) 150名

(海外17都市・地域)

ブリュッセル(ベルギー)、リエージュ(ベルギー)、トロント(カナダ)、  
昆明・クンミン(中国)、上海・シャンハイ(中国)、リール(フランス)、  
ハンブルグ(ドイツ)、ハノーバー(ドイツ)、テッサロニキ(ギリシャ)、  
大田・テジョン(韓国)、麗水・ヨス(韓国)、ヴロツワフ(ポーランド)、  
モスクワ(ロシア)、セビリア(スペイン)、サラゴサ(スペイン)、  
チェンマイ(タイ)、イズミール(トルコ)

(国内8都市・地域)

大阪市、沖縄県、茨城県、つくば市、愛知県、瀬戸市、豊田市、長久手町

・招待者(各国政府代表及びパビリオン館長、県議会議員等)170名

・一般参加者 200名

AVE(万博開催都市・地域連盟)の概要

AVEは、2000年10月、ハノーバー万博において、BIE、ハノーバー、リスボン、セビリア、愛知、  
モントリオール及びバンクーバーの代表者によって設立されました。AVEでは、万博開催による地域  
づくりについて意見を交換し、地域における万博の開催成果を遺産として未来に継承していくことを  
目的としています。第1回会議は、2002年9月にスペインのセビリア市で開催し、今回は第2回目で、  
愛知県知事神田真秋が議長を務めました。